

あだたら

十月二十五日(日)

五葉松平登山道整備

報告 編集部

第384号
発行所
松山市鉄山会
あだたら山部
編集



設置完了した梯子

安達太良山五葉松平登山道は、ロープウェイ運行停止の場合、歩いて薬師岳山頂を目指す登山道で、利用者も結構多い。薬師尾根の下部で、溶岩台地の末端の崖。崩れやすい溶岩が積み



梯子の足下は、杭で固定

重なり、登りにくい場所が多い。今回は特に険しい「二石の滝」に「梯子」を設置した。梯子は張り出した溶岩部にボルト二カ所で止め、下部は杭で地山に固定した。ここ利用する度に点検を行うこととし、異常があったらすぐに手入れすることとした。

前日は雨だったが、当日朝は奥岳では曇り。但しものすごく冷たい強風。登山道は火山灰で滑り易い泥濘の道だ。当日朝も強風でロープウェイは運転停止。このコース登る人も多かった。狭い道なので、登山者が来る度に作業は中断するが、梯子設置の作業を見て、感謝の言葉掛けていた。十時過ぎに作業終わる頃は今シーズン初の「みぞれ」模様。それでも会員は減らず、やぶの刈払いしながら薬師岳まで登山。ロープウェイ駅内休憩所で昼食。会員外も含め九名が参加した。

●編集部連絡先
二本松市郡内1-5-15
0243(22)4245
FAX可 渡辺 正



参加者集合



下のボルト止め



上のボルト止め

十月七日に湯川溪谷登山道で整備作業を実施した。七月二十六日の笹山下登山道整備が天候不良で延期になったが、それを別日に実施した形。まずは、昨年末に流出して、利用できなくなった。僧悟台コースの橋の本格架橋を行った。先月二十七日に仮橋設置していたが、流出していた本来の橋材を引き上げて戻



流出した橋材戻して架橋作業

十月七日(水) 湯川溪谷登山道、 橋掛け、脇道整備

報告 編集部



金剛清水橋での溢水防止工事



登山道両側を刈払い

た。今回、その脇道の積極利用を図って更なる刈払い作業を行った。結果、塩沢登山口から、金剛清水まで、沢と化した道に降りずに通過できることとなった。

また、金剛清水徒渉地点では、登山道への溢水防止作業も実施した。段取りなどがうまくいき、午前中で作業を終えることができた。会員外一名を含め九名が参加した。

十月四日 (日) 福島市民登山、吾妻山浄土平周辺 報告・編集部



鎌沼廻りで、当会全員

今年の福島市体育祭、登山の集いは、十月四日(日)、県北支部役員十九名、一般参加者十二名で福島市浄土平周辺で開催された。今年のコロナ禍、七月末で緊急事態が解除されて、登山者も多く見られた。当日は曇り空、それ程寒くは無く、腕まくりしても



姥神様と、女性参加者

山道にも登山者の姿が見られた。ここいらからはクロマメノキの実が見られる、とても美味しい。市民登山の一行、十人ほどのグループに自然に別れて歩くようになった。次は鎌沼経由で姥ヶ原、登山者が多く、木道では、道譲り合わないといけない状態。草原にはエゾリンドウの花、ゴゼンタチバナの実、やがて少しの登りで姥神様、いつの間にか、脇に吹雪地藏尊も祀られていた。十時半、姥神様と女性五人で記念撮影。東吾妻への分岐の先少し行っただとここで昼食、無風でも気分がよい。昼食を終

え、今来た道を浄土平に戻る。十一時五十五分、鎌沼湖畔で当会だけで記念撮影。この辺でコケモモ、マインヅルソウの実も見付け。鎌沼、酸ヶ平避難小屋、一切経、そして沢山の登山者、とにかく「絵」になる山歩きた。鎌沼を外れて一切経を正面に見る頃、見慣れないところからガスが噴き出しているのが見えた。昨年までは「大穴火口」の廻りだけだったが、今年は大穴火口の上の稜線からもガスが出ていたのが見えた。是迄も出ていたのかも知れないし、気圧の関係な

心配された天気も上がり、福島市民登山、浄土平より姥ヶ原、鎌沼コースで行われ、あだたら山の会より、女三人、男四人の参加があり、約三十人の団体となる。浄土平駐車場は日曜日とあって満車。登山者も多い。酸ヶ平の木道など擦れ違うのに大変。紅葉も見頃とあって、楽しむ事ができた。鎌沼には何回も来ているが、廻りの紅葉、そして木道を歩く姿が湖面に映る、風も無く穏やかな光景は始めて。吾妻山にももうゆう日があるのだと思っただ。参加して良かったと思っっている。だが中にはいまいち満足しない人もいたみたいで残念でした。

福島市民登山協力参加 □□□□



鎌沼の脇の木道

十月七日 (水)、湯川溪谷登山道整備、参加者写真



10月7日、湯川溪谷山道整備参加者、機械持参者



酸ヶ平から見た 稜線の噴煙

九月二十一日(月)

くるがね小屋で風呂を楽しむ

報告 □□□□



九月二十一日は敬老の日。くるがね小屋の風呂を楽しむのに晴天の下、出掛ける。スカイピア前の駐車場は満杯。テント場も多くのテント。新型コロナで密を避けて来たのだから、奥岳第一駐車場も満杯、やむなく路肩の駐車スペースに車を止める。次から次へと車、この分では第二駐車場迄入るだろう。ゴンドラ乗場は時間待ちの長い行列。九時入山届けを出す。途中馬車道ではキノコ取りをする登山者、タマゴダケとか言う、赤いキノコ、知らない私は始めて見た。勢至平下からは早い登山者が下山して来る。勢至平分岐点十一時。早くも昼食のパティもいる。この分では小屋は多くの登山者がいるのではないかと思ひ、峰の

辻を廻り小屋へ行く事にし、麓山ルートに入る。下山者に登山道の状況を尋ねると、登山道は荒れて歩きにくい、くるがね小屋廻りの方が良いですなど、アドバイスしてくれた下山者もいた。いつもの所で昼食。峰の辻一時半。山開きの時の様に多くの登山者。くるがね小屋の上で少し色が変わっているナナカマドを見付けて写真に納めようとしていると、一人の女性に声を掛けられた。女性は塩沢から入山、箕輪山に登り、箕輪の三角点を見て来たとの話。なぜ私にそんな話をしたか定かではないが、これから湯川を下山するといふので、橋が流されているので気を付けてと話する。「アリガトウ」と下山していった。

小屋の前は多くの人が休んでいる。小屋の管理人に風呂をお願い。今、コロナで風呂も制限し、二人としているので、少し待って欲しいとの事。コーヒーを飲んで待つ。風呂を楽しみに来たのだから長湯も考えたのだが後の事も考え、早々に風呂を出、又長居も禁物と思ひ、三十分小屋を出る。奥岳四時三十分下山する。帰宅後一人寂しく敬老の日、祝ビールでカンパイ。

十月二日(金)

塩沢地区民登山、塩沢小学校登山教室

報告 □□□□



塩沢地区民登山、塩沢小登山教室

九月二十五日予定していた塩沢地区民登山、四年生の登山教室が荒天で延期となり、十月二日好天に恵まれ、行われた。ゴンドラ山頂コースだが薬師岳から上が紅葉が始まり、最初は先生の話を聞いていたようだが、だんだん緊張が解ける。

で朝食、湯川を登り山頂。同じコースを下山、夕方には家に着いた。夏休みだったと思うが、父に連れられた山行だったが、その時の事は忘れられず、何が良かったのか判らないが痛み付きになり、今となっては

たのか、元氣な子になり、楽しんでいた様だ。山頂でも昼食も程々にTシャツで走り廻っている者もいた。転んでも又起き又走る、頼もしい子が塩沢にいらるなんてこれからが楽しみだ。私も始めて安達太良へ登ったのが小学四年生だったと思う。当時、車も無く、家を五時半に出、木の根坂

十月二十七日(火)
竹貫鎌倉岳、三株山、芝山
集合は朝六時半、安達ヶ原ふるさと村駐車場、チェーズ、文化センター駐車場へ



竹貫鎌倉岳山頂

私の車置いて□□さんの車に三人乗って出発、国道三九九号をひたすら南下。八時過ぎには古殿町に入る。町の上に聳え立つ「竹貫(たかぬき)鎌倉岳」が見える。町役場の角を曲がって、八時半過ぎには、登山口の「長寿の強清水」駐車場に到着した。ここからは、緩やかな山道登り、最初の坂を登って峠に着いたら、そこに二体の石仏があった。仏様の頭上に「馬面」が載っている。馬頭観音様だ。右側は「享和二年」、左側は頭上に三体の馬面、明治二十二年、ということはこの処まで馬が働きに登って来たのだと言う事だ。九時少し前に「天狗の足跡」到着。ここから少し上は急登になる。グリーンタフも使われた急な石段、普通は鎖に頼らないが、ここでは縛らせて置いた。九時過ぎには山頂着。約三十分の山登り。ここからは古殿の町がよく見える。磐梯山もうっすらと確認することができた。下山して、駐車場の東屋近くで、センブリの花見付け

次は更に南下して三株山、富士山の見える山として有名。ちよっとした手を使って、十時四十分、山頂三角点まで車で入る。リンドウやアザミが咲いている。富士山展望台に登って、富士山の方向確認する。肉眼でも設置されている双眼鏡使っても、富士山は確認出来なかった。ここから富士山が見える、と言う事は、さっき登った竹貫鎌倉岳。鎌倉からお嫁さんに来たお姫様が鎌倉、懐かしがって泣いていたので、鎌倉岳に登らせて鎌倉はあっちの方です、と教えて慰めたと言う話があるが、この三株山に連れてきて、富士山を見せて、鎌倉はあの下ですよ、と教えた、の方が、より面白いのではないかな。マリンタワー綺麗に見える、磐梯山綺麗に見える、安達太良山、山頂は雲に隠れているが、左裾が見えていた。



三株山からの磐梯山

望台へ、途中でセンブリ、リンドウの花を発見。展望台からは、蓬田岳がすぐ近くに見える。遠くに二岐山も見える。大滝根山が近くになった。水石山の航空管制レーダーも見えた。

展望台から下がって、平和観音、駐車場へ戻って、猿子平という芝生の広場、ここで昼食。散歩していた□□さんが地元の人とお話。そしたら芝生の一部に簡単な柵がしてあって、その中に「マツムシソウ」があるという。福島県の絶滅危惧種だ、行ってみたら、一杯咲いていた。秋の花なので今月は十月、不思議ではないのだが、意外だ。実は「日山」で数株見たことがあるだけだったので、大喜びで撮影した。



芝山のマツムシソウ

◆登山報告は来月号に掲載